



岸和田市立太田小学校 校長室だより

「日日の善行」(ひびのぜんこう)

めざす学校像 だれもが主役になれる学校



校長
山下善久

令和2年11月9日

皆様もご存じのように、今年度はコロナ禍によって本校の教育活動に、さまざまな制約が生じています。その中でも、特に学校行事には大きな影響が出ており、自粛した行事もかなりあります。このような状況ですので、5年生の「臨海学舎」と6年生の「修学旅行」は、例年とは内容を変更して実施いたしました。

5年生 臨海学舎

例年は大阪府立青少年海洋センターにおいて、一泊二日の日程で実施していた「臨海学舎」を、今年度は10月6日(火)に日帰りで実施し、ヨットやカヌーを体験いたしました。普段はなかなか体験できない内容のプログラムですので、子どもたちも大変楽しんでいました。

また、海洋センターに隣接するときめきビーチで磯遊びも行いました。最初は手や足を海につけたりしていたのですが、気がつくともみんな海に飛び込んでいました。秋になって水温も少し低くなっていたのですが、そんなことは全く気にしていない様子でしたので、太田小学校の子どもたちが、いかに元気かを、改めて認識いたしました。

また、臨海学舎が行われた翌日に学校の体育館で、紙で作ったトーチを使って「疑似キャンプファイヤー」を行い、子どもたちが以前から考えて、準備していた出し物を披露して、楽しい時間を過ごしました。



6年生 修学旅行

例年は広島を訪問し平和学習を行っておりましたが、今年度はコロナ対策のため、遠距離移動を避けて、神戸の「人と防災未来センター」や淡路島の北淡震災記念公園(野島断層)などを初日に訪問して、阪神・淡路大震災に関する資料を見学し、防災学習を行いました。

広島での平和学習と同様に、子どもたちは「命の大切さ」を学ぶとともに、いつ起こるかわからない災害に対して、日頃の備えがいかに大切かを考えるきっかけになったのではないかと思います。

そして姫路の旅館(なかなかいい宿舎でした。)に宿泊して、二日目は姫路城で集合写真を撮影した後、姫路セントラルパークに行き、サファリパークや遊園地を楽しみました。

今回は遠距離移動が少ないため、無理のない行程になったので、早朝に学校へ集合する必要もありませんでした。子どもたちも一様に「楽しかった。」と感想を話していましたので、いい修学旅行になったのではないかと思います。

